

総体出場 ハンマー投げ 木村選手

五輪経験OBが激励

洛陽工高



走り幅跳びで東京オリンピックに出場した河津さん(左)と握手を交わす木村さん(中)＝京都市南区・洛陽工業高

北東北高校総体(28日開幕)に出場する男子ハンマー投げの選

手、洛陽工業高3年の木村太一さん(17)＝

と14日、東京オリンピックに走り幅跳びで出場した同高陸上部OB

の河津光朗さん(70)

＝大阪府箕面市＝が京都市南区の同高を訪れた。

木村さんは、6月16日に長居第2陸上競技場(大阪市)で行われた近畿地区予選で自己ベストの60・75センチを出して優勝した。

高校時代、走り幅跳びと三段跳びの選手だった河津さんは「試合前は不安になるが、練習をやりすぎないこと。力をためて本番に

どーんと出す」と記録を出すコツを伝授。「全国大会で、三段跳びでは優勝したが、翌日の走り幅跳びでは記録が出せなかった。舞い上がってもいけない」と教訓を語った。

木村さんは「貴重なお話を聞かせていただいた。全国大会では大会新記録の66センチを出したい。将来は、オリンピックの選手を目指したい」と話していた。(堀田真由美)

平成23年7月15日(金) 京都新聞 朝刊